

Small States and Survival -The Case of Georgia-

使用言語：英語

小国は外部の力に依存せざるを得ないが、戦略的な行動によって国際的地位を上げることができる。領内のアブハジアと南オセチアをロシアの勢力下に置かれて脆弱な立場にあるジョージアは、独立後20年間、EU・NATOに接近し欧米の支持を得ることで脅威を抑止する方針を採っていた。こうしたジョージアの対外関係を、国際政治学の概念を使いながら解説する。



2026
7.10 (金)
14:20-15:50
(第4時限)

講師

Professor **Kornely Kakachia** (コルネリ・カカチア氏)
イヴァネ・ジャヴァヒシヴィリ・トビリシ国立大学 教授 (ジョージア)

司会 **鈴木 義一 氏** 東京外国語大学 総合国際学研究院 教授

開催情報

対面とオンラインによるハイブリッド形式

会場：東京外国語大学 府中キャンパス
本部管理棟中会議室 (東京都府中市朝日町3-11-1)

オンライン：Zoom

一般公開あり・事前登録制・参加無料

お申込み



QRコードより
7月8日(水)正午までに
お申し込みください。

交通アクセス キャンパスマップ



講演会終了後
学生との懇談を予定しています。
ジョージアの言語、文化、日常生活など
学生の関心に応じて質問できます。

